

令和5年5月31日

第562号

横浜市立日吉台小学校

吉井 宣明

教育目標

みずから生きる

ともに生きる 日吉台の子

ひよびだい



## アフターコロナの教育活動

校長 吉井 宣明

新緑の季節になりました。本来なら過ごしやすい気候になるはずなのですが、5月の中旬には真夏日を記録する季節外れの暑さになりました。気温と湿度から暑さの指数を計測できるWBGT計を活用しながら、基準よりも安全を優先させて対応しましたが、それでも急な暑さへは体が慣れていなかったからか、児童が体育や校外学習で体調を崩すということがありました。そうかと思えば、その翌週には3月並みの気温に逆戻りと、安定しない天気にも翻弄されます。

新型コロナウイルス感染症が5月8日より5類になったことを受けて、学校においても徐々に対応を変えていっています。5月に行われた授業参観は、各家庭2名とさせていただきます。平日にもかかわらず、たくさんの保護者の皆様に参加していただきました。本当にありがとうございました。昨年度までのように分散という措置を取らなかった為、教室はどこもいっぱい、コロナ前の授業参観に戻ったようでした。6月は土曜授業参観があります。さらに多くの方に来ていただけることが予想されます。ぜひ皆さんが参観できるよう中ほどに詰めるなど、ご協力お願いします。また参観者に置かれましてもマスクの着用は個人の判断となっております。

6月からは水泳学習が始まります。昨年度は、6年生のみとしましたが、今年度は全学年が行います。1年生から4年生にとって小学校で初めての水泳学習になります。楽しい活動である反面、水の事故に気を付けなくてはなりません。学習の内容としては、1・2年生が「水遊び」、3・4年生が「浮く・泳ぐ運動」、5・6年生が「水泳」と、学年に応じた課題が設定されています。しかし、低学年の学習をやったこなかった3・4年生がいきなり学年で決められた技能に取り組もうと思っても難しいことが予想されます。5年生・6年生にとっても中学年の「浮く・泳ぐ運動」を飛ばして「水泳」の領域を学習するのは難しい場合もあります。児童の実態に合わせて活動内容を変えていくようにします。また児童が安全に水泳学習を行えるよう、職員も事前の研修を行い指導に臨みます。

学校では、このほかにも児童理解研修や共同研究など、教職員の資質能力向上のための様々な研修や研究に取り組んでいます。また英語教育の必修化やGIGAスクール構想等、新しい教育課題へ日々対応しております。学校現場では、教師の長時間勤務が深刻な状況にあると言われるようになって長いですが、今もその状況は続いています。加えて全国的に教師が不足しており、負担は増すばかりです。80時間超過は過労死ラインと言われますが、そのラインを超える教師は本校にも複数います。教師が毎日、子どもたちにいきいきと接し、教師の本分である学習指導や教育活動に力を注げるよう、本校でも働き方改革を推進してまいります。ぜひ、ご理解とご協力をお願いいたします。今年度も16時45分から翌7時45分までは留守番電話にさせていただきます。

